

各 位

会 社 名 明豊ファシリティワークス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂田 明
 (J A S D A Q ・ コード 1717)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役 経営企画本部長 大島 和男
 電話 03-5211-0066

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 10 月 20 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

平成 29 年 3 月期通期 個別業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
					円 銭
前回予想 (A)	7,400	630	590	400	35.39
今回修正予想 (B)	5,700	615	575	405	35.81
増減額 (B-A)	△1,700	△15	△15	5	
増 減 率 (%)	△23.0	△2.4	△2.5	1.3	
(ご参考) 前期実績 平成 28 年 3 月期	7,372	645	570	374	33.26

修正の理由

当社の売上高は、当社と顧客との契約形態がピュア CM 契約 (工事原価を含まないフィーのみの業務委託契約。図 1 参照。) か、アットリスク CM 契約 (工事原価を含む請負契約。図 2 参照) かで大きく異なります。また、どちらの契約形態を選ぶかは、顧客がプロジェクト毎に選択可能であります。

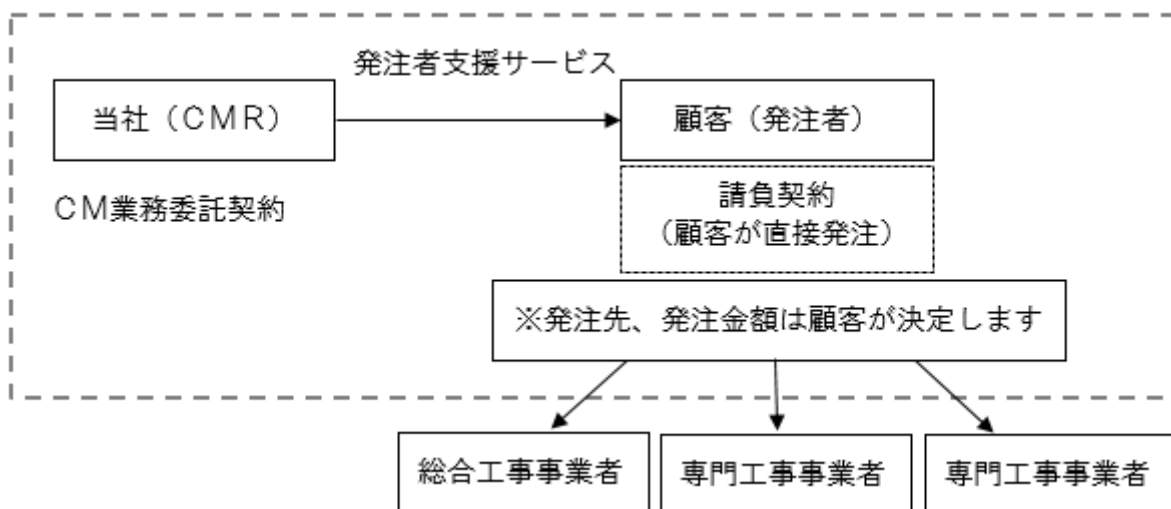
当事業年度は、アットリスク CM 契約による売上高が前回予想に比べ減少したことと、一方ではフィーベースのピュア CM 契約が堅調に推移していることにより、売上高は前回予想 7,400 百万円から 5,700 百万円になる見込みとなりましたが、売上高と売上原価がほぼ同額で減少することから、利益面に対する影響は殆どありません。

販売費及び一般管理費は、社員の処遇向上を含む体制の強化を図り、ほぼ予算通り推移しております。従来から実施している処遇向上策に加えて当事業年度から役員社員向けに株式報酬制度 (一定の業績を達成した場合に有効となるストックオプション) を導入しており、当該条件を満たす見込みであることから、ストックオプション発行費用 (業績連動型賞与相当) を更に 50 百万円計上しております。

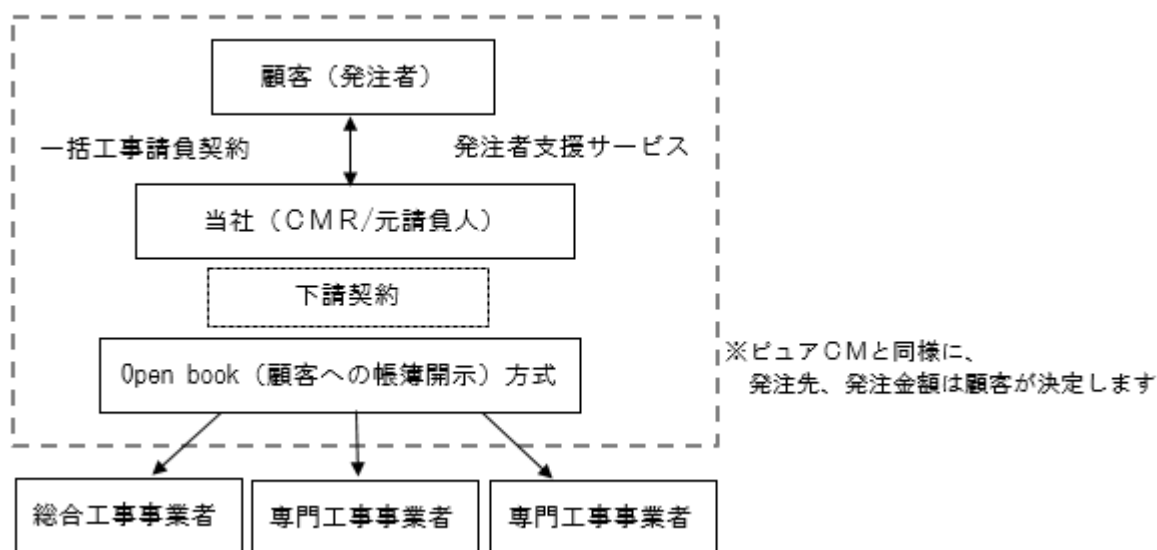
社内で管理する粗利益ベースでの当事業年度における受注高及び売上高は、過去最高を記録する見込みであります。前述した理由により、営業利益は前回予想 630 百万円が 615 百万円となり、経常利益は前回予想 590 百万円が 575 百万円になる見込みとなりました。

当期純利益は、社員の処遇向上に伴う所得拡大促進税制による税額控除を受ける見通しとなり、前回予想を上回る見込みとなりました。

(図1) ピュアCM方式の契約関係(業務委託契約)は次の通りであります。
 当社はマネジメントフィーのみを売上計上します。



(図2) アットリスクCM方式の契約関係(請負契約)は次の通りであります。
 当社は完成工事高(マネジメントフィーを含む)を売上計上します。



(注) 上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値と異なる可能性があります。

以上